



# 牧中だより

平成29年12月20日

高岡市立牧野中学校

第6号

## 校長室のとびら

— 「挑戦、挑戦、そして挑戦」の精神で! —



ついに冬将軍がやってきました。とはいえ、富山の冬と言えはかつては“雪”が代名詞でしたが、近年はすっかり積雪が少なくなり、私の少年時代とは冬景色もすっかり変わってしまいました。この変化を歓迎する自分がある反面、温暖化に対する不安な気持ちでいっぱいです。

さて、今回は「不易」と「流行」について話をします。「不易」とはいかに世の中が変わろうともその価値が変わらないもののことで、伝統として受け継がれていきます。一方、「流行」とは、世の中の変化に合わせて変えていかなければならないもののことを言います。今、世の中は日進月歩の変化を続けています。AI やロボットの普及は私たちの生活を根本から大きく変えようとしています。そんな中、私たち自身にも変革が求められています。

変革について少し考えてみます。突然ですが、今年、私が愛する阪神タイガースは2位という好成績でペナントレースを終え、クライマックスシリーズに出場しました。この大躍進の要因として、金本監督のチーム運営が注目を浴びました。金本監督が掲げた今年のスローガンは『超変革』でした。「特別出場枠はありません!」と言い切った監督は、タイガースの顔とも言える藤波晋太郎投手を二軍へ降格させたのです。実績のある選手に対して不調を理由に降格させることは、勇気のいる決断だったと思います。過去の実績へのこだわりを捨てる監督の覚悟がチームの意識を変え、超変革につながりました。藤波投手もこの屈辱をバネに、きっと来年は自分自身を超変革して、より成長して一軍に帰ってくるはずです。人は変革を通して成長していきます。また、社会も変革を通して発展していくのです。

中学校教育においても「不易」と「流行」があります。牧野中学校では、元気な挨拶や心を込めた清掃が伝統として受け継がれ、地域を担う人材育成につながっています。その上で、これからの日本社会を背負っていく中学生には、未来の創り手として自らを変革し続ける力を育てていかなければなりません。そのために大切なことはチャレンジです。目標をちょっと高めに設定して、努力を続ける経験を積み重ねていかなければなりません。子供たちの挑戦を応援し、支えていくことこそが学校と家庭の役割です。時には親として金本監督のように厳しさをもって支えることもあるかもしれませんね。牧野中学校の生徒諸君には「挑戦、挑戦、そして挑戦」の精神で中学校生活を送ってくださることを願っています。

## 授業参観と校内人権スピーチ

12月9日(土)に授業参観と校内人権スピーチが行われました。

2年生は厚生連高岡病院から助産師を講師に招き、「いのちの教室」を開催しました。命の尊さや出産のたいへんさを感じ、家族への感謝の気持ちを強くしました。また、赤ちゃんふれあいボランティアとして、1歳未満の乳児とお母さんもゲストに迎え、ふれあい体験もしました。

各学年とも、お忙しい中、多くの保護者の皆様に参観していただき、本当にありがとうございました。



## 第4回ノーメディア・チャレンジ・ウィークを終えて

11月22日(水)～11月30日(木)に実施されたノーメディア・チャレンジ・ウィークの取組の結果をお知らせします。

○どのコースにチャレンジしたのでしょうか。(%)

コース	内 容	1年	2年	3年
1	食事(夕食)の時だけノーメディア	12%	23%	20%
2	メディア1日1時間まで	19%	19%	18%
3	メディア1日2時間まで	51%	40%	51%
4	学校から帰った後、ノーメディア	11%	10%	5%
5	朝から寝るまでノーメディア	2%	2%	4%
6	その他	5%	6%	2%

○ 家庭でチャレンジすることができましたか。(%)

チャレンジの結果	1年	2年	3年
できた	38%	19%	31%
まあまあできた	43%	60%	44%
あまりできなかった	16%	19%	17%
できなかった	3%	2%	8%

### 生徒のコメントより

- ・取り組んだら、あっという間に時間が過ぎ、テレビを見る時間もなかった。でも、取り組むまでに時間がかかったり、終わってからテレビを見てしまうこともあったので気を付けたいです。(1年)
- ・いつもはたくさんしてしまう土曜日のゲームを、ノーメディア・チャレンジ・ウィークのおかげで減らすことができてよかった。(1年)
- ・休日は、特にメディアから離れて、テスト勉強に集中して取り組むことができてよかったです。(2年)
- ・私は4コースと5コースに取り組んだ日はうまくいかず×が付いてしまいました。でも前よりは勉強時間が増え、課題でない復習などもできるようになって、よかったです。(2年)
- ・自分の決めたコースをほとんど守ることができたのでよかったです。これからメディアを使う量を減らしていこうと思いました。(3年)
- ・最後まで集中して期末考査に向けて学習することができたのでよかったです。これをどんどん続けたいです。(3年)

### 保護者から

- ・いつもノーメディア・チャレンジ・ウィークは家族にとっての大切な時間になっています。心なしかいつもより皆の会話が増えたり、思いやったりできているような気持ちになります。(1年)
- ・学習時間も増え、テストに向けて真剣に取り組んでいる様子でした。自分なりの学習方法を身に付けている感じがします。(1年)
- ・毎日、時間をかけて学習し、頑張っている様子が見られました。今回の結果から苦手な点も見えてきたと思うので、これで満足せず、苦手克服に向けて冬休みも引き続き頑張ってください。(2年)
- ・前回よりも自分から進んで集中して取り組んでいたように思います。学習時間も意識して増やすことができていました。ノーメディアという環境は普段なかなかありませんが、このような機会があると家族みんなで気を付けたり、声をかけ合ったりすることができてよかったです。(2年)
- ・テレビにない生活は親もなかなかできませんが、ノーメディアの期間中はなるべく子どものいる前ではテレビを付けないように心がけました。周りの環境を整えてあげることも大事だと思いました。(3年)
- ・今回もきっちりノーメディアを成功することができました。期末テストということで、5教科以外の教科もやっていました。部屋からはゲーム音ではなく音楽のリコーダーの音が聞こえてきました。(3年)